



正副会長の活動状況

— 会務報告 —

日本弁理士会 副会長

吉田 博由

本年度副会長の吉田博由と申します。4月に本年度役員会が始まってから本稿執筆時で早くも6か月を経過しました。4月に各委員会などが立ち上がり、5月の定期総会、6月の各支部廻りなど各種行事が終了し、最近では各委員会にお願いしています諮問事項等に対する検討結果が出てくるようになり、これからそれらを踏まえて例規改正などに向けた動きを進めて行く予定です。

以下、私が担当しています委員会などについてご報告します。

【コンプライアンス委員会】

産業構造審議会の弁理士制度小委員会で指摘された事項に関して新たな諮問について審議していただく予定です。受任に際しての合意書作成、共同事務所におけるコンフリクトの防止、主たる事務所に対して複数の従たる事務所を有している場合の規制を設けることの是非、情報遮断に関する注意喚起文の作成、預り金の分別管理などです。

【業務対策委員会】

会員からの情報提供をもとに弁理士法第75条、第76条、第31条の3違反事件についての調査被疑者への対応の実施を行っています。本年度は、東海支部からの情報提供に基づいて、被疑者を長野県警に告発しました。そのほかに外部情報の活用により弁理士法違反の事例があるか調査しています。

【知財訴訟委員会】

知財訴訟に関する調査研究及び提言についての諮問に対する答申書の作成、知財訴訟に対する日本弁理士会及び弁理士が果たすべき役割についての調査研究の審議、附属機関、他の委員会との連携及び協力につい

て審議しています。また、知的財産高等裁判所との意見交換会を行いました。

【弁理士業務標準化委員会】

弁理士業務標準のテキストをスマホ版に編集して、弁理士がクライアントと打ち合わせする際に説明漏れなどが生じないように準備する予定でしたが、本年のスマホ版作成が困難になりましたので、携帯版を作成することになり現在作業を進めています。

【知財活用推進委員会】

知的財産を活用している企業や自治体などに対して表彰を行う準備をしており、知財評価書作成のガイドラインの作成方法について審議しています。知的資産経営についてのセミナーの開催を計画しています。

【選挙管理委員会】

今年には会長選挙の年であり、本稿執筆時は、会長選挙の投票期間であり、公平性をきたすために、選挙期間、投票日、開票日などの日時、立会人などの人的要件を満たして、公平な選挙が行われるように任務を遂行しています。

【ローカルベンチマークWG】

ローカルベンチマークは、あまり聞きなれない言葉ですが、地域企業の経営状態を把握するためのツールであり、金融機関や支援機関との対話により金融機関や支援機関などの支援による企業の経営改善や成長などにつなげ、地域経済振興につなげるための手段と位置づけられています。経済産業省から日本弁理士会に対して積極的な活用を呼び掛けており、当WGでは、今後の進め方について議論しています。

【知的財産経営センター設立準備 WG】

知的財産を事業に活かす経営を支援するとともに、この知財経営に係る業務を行う弁理士を育成・支援し、知財活用のために既存の組織、事業を統合したセンターを設立する準備を進めています。統合の対象となるのは、知的財産価値評価推進センター、知的財産経営コンサルティング委員会、キャラバン統合 WG、知的財産活用推進委員会です。平成 29 年 4 月の設立

を予定しています。

【近畿支部】

本年度の弁理士の日記念事業としてロボットと共に歩む近未来社会というテーマのもとに講演会を開催し、多くの参加者でにぎわいました。また、近畿支部では支部名称を「日本弁理士会近畿会」に変更できるように本会に求めています。